

# 第58回日本衛生動物学会大会

大会長： 高木正洋（長崎大学）  
会 期： 2006年4月6日（木） - 4月8日（土）  
会 場： 長崎大学坂本キャンパス（医学部・熱帯医学研究所）

事務局：長崎大学熱帯医学研究所生物環境分野内 担当 都野  
〒852-8523 長崎市坂本1-12-4, Phone/FAX: 095-849-7811/7812  
E-mail : [eidou58@tm.nagasaki-u.ac.jp](mailto:eidou58@tm.nagasaki-u.ac.jp)

## 大会日程

### 4月6日（木）

13:00-17:00	殺虫剤研究班集会	記念講堂
13:00-15:00	ダニ類研究班集会	ポンペ会館
13:30-15:00	アブ研究班・ブユ懇話会合同集会	ポンペ会館
13:00-15:00	生理分子生物談話会	熱帯医学研究所 1F小会議室
16:00-18:30	幹事会	ポンペ会館

### 4月7日（金）

09:00-16:00	受付	ポンペ会館
09:30-12:00	一般講演	記念講堂（A）・ポンペ会館（B）
12:10-12:40	編集委員会	ポンペ会館
13:20-14:40	一般講演	記念講堂（A）・ポンペ会館（B）
15:00-15:30	総会	記念講堂
15:30-16:30	学会賞・佐々賞授賞式, 学会賞受賞講演	記念講堂
16:45-17:45	招待講演	記念講堂
18:00-20:00	懇親会	大学生協食堂

### 4月8日（土）

09:00-10:00	一般講演	記念講堂（A）・ポンペ会館（B）
10:10-11:40	シンポジウム	記念講堂
12:10-12:40	情報委員会	ポンペ会館
13:00-15:40	一般講演	記念講堂（A）・ポンペ会館（B）

## 第49回日本衛生動物学会賞 受賞者

岩佐光啓（帯広畜産大学畜産環境科学科）

「畜産環境に関連するハエ類の分類，生態，疫学に関する研究」

Iwasa, M. (Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine)

Studies of taxonomy, ecology and epidemiology of dipterous flies associated with environment in livestock farm

## 第16回佐々賞 受賞者

武間亮香（アース・バイオケミカル株式会社）

受賞論文

Buma, R., Maeda, T., Marutaka, Y., Kamei, M., Nagamune, H. and Kourai, H. (2004) Vectorial capacity of larvae, pupae and adult of housefly (*Musca domestica*) for *Escherichia coli* O157:H7 and the possibility of transmission from source to human. 55(2): 95-106.

佐藤寛子（大分大学医学部）

受賞論文

Sato, H., Takaoka, H. and Fukuda, M. (2004) A new species of *Simulium* (*Nevermannia*) (Diptera: Simuliidae) from Japan. 55(2): 201-210.

Sato, H., Saito, K., Fukuda, M., Takahashi, M. and Takaoka, H. (2004) Taxonomic revision of *Simulium konoii* Takahasi (Diptera: Simuliidae) from Japan. 55(4): 313-324.

Sato, H., Takaoka, H. and Saito, K. (2005) Description of a new species of *Simulium* (*Nevermannia*) (Diptera: Simuliidae) from Japan. 56(1): 11-20.

## 4月7日(金) A会場 9:30-11:10 (記念講堂)

### 座長 川田 均

- 9:30 A01 試作された蚊誘殺器の防除効果  
\*杉山章<sup>1)</sup>, 中川 八郎<sup>2)</sup>, 野村 昭男<sup>2)</sup> (1)名古屋女子大・公衆衛生, 2)テクノ中部・環境マネジメント部)
- 9:40 A02 蚊の誘引捕獲機「モスキートル」の開発  
\*荒木 修, 藤森 泰宏, 小南 八崇仁, 碓 公明 ((株)サンエイム)
- 9:50 A03 蚊捕獲器の室内試験における捕獲能力評価  
\*白井 良和 (害虫防除技術研究所)
- 10:00 A04 蚊吸引捕獲機モスキートルの野外における誘引距離について  
\*荻野 和正<sup>1)</sup>, 橋本 知幸<sup>3)</sup>, 武藤 敦彦<sup>3)</sup>, 原 弘之<sup>2)</sup>, 大園 右文<sup>2)</sup>, 碓 公明<sup>4)</sup>, 荒木 修<sup>4)</sup> (1)産業医科大学医学部, 寄生虫学熱帯医学, 2)(株)サニックス, 開発本部研究所, 3)日本環境衛生センター環境生物部, 4)(株)サンエイム開発部)
- 10:10 A05 インドネシア・スラバヤ市におけるイーストによる二酸化炭素発生装置を用いた屋内吸血性蚊の採集結果  
\*津田 良夫<sup>1)</sup>, ムラトノ クリス<sup>2)</sup>, ヨトプラノト スバギオ<sup>2)</sup>, ベンドリマン スリスベクティ<sup>2)</sup> (1)国立感染症研究所, 2)アイルランガー大学熱帯病センター)

### 座長 津田良夫

- 10:20 A06 大阪市内の冬季におけるアカイエカ群について  
\*吉田 政弘<sup>1)</sup>, 山下 敏夫<sup>1)</sup>, 小林 睦生<sup>2)</sup> (1)いきもの研究社, 2)国立感染症研究所)
- 10:30 A07 富山県における感染症媒介蚊の発生実態調査(2003 から 2005 年)  
\*渡辺 護<sup>1)</sup>, 小原 真弓<sup>1)</sup>, 西尾 恵美里<sup>2)</sup>, 小林 睦生<sup>3)</sup> (1)富山県衛生研究所, 2)富山県食品生活衛生課, 3)国立感染症研究所)
- 10:40 A08 東北地方における疾病媒介蚊の分布域拡大および分布周縁部における生息密度に関する調査  
\*小林 睦生, 二瓶 直子, 斉藤 一三, 津田 良夫 (国立感染症研究所)
- 10:50 A09 名古屋市内における蚊の調査(2005)  
\*横井 寛昭, 上手 雄貴, 柴田 伸一郎 (名古屋市衛生研究所)
- 11:00 A10 都市地理情報を用いた首都圏の疾病媒介蚊の生息予測  
\*二瓶 直子<sup>1)</sup>, 津田 良夫<sup>1)</sup>, 駒形 修<sup>1)</sup>, 望月 貴一郎<sup>2)</sup>, 小林 睦生<sup>1)</sup> (1)国立感染症研究所・昆虫医科学部, 2)パスコ)

## 4月7日(金) B会場 9:20-11:20 (ポンペ会館)

### 座長 田原雄一郎

- 9:20 B01 オオクロバエの殺虫剤感受性  
\*駒形 修, 葛西 真治, 津田 良夫, 小林 睦生, 富田 隆史 (国立感染症研究所昆虫医科学部)
- 9:30 B02 飛越高原, 山之村地域のアブ  
\*渡辺 護 (富山県衛生研究所)
- 9:40 B03 配水管を利用した工作の簡単な戸田型トラップ  
\*中山 裕人 (九大・比文・生物体系)
- 9:50 B04 吸血性アブ類調査用トラップは蚊帳だけで良いか  
\*佐々木 均, 石川 陽司 (酪農学園大学)
- 10:00 B05 台湾の水牛に寄生するハエ類に対する薬剤含有イヤータグの防除効果  
\*Huang Yaote<sup>1)</sup>, Gea Yu-Shine<sup>2)</sup>, 佐々木 均<sup>1)</sup> (1)酪農学園大学, 2)台湾省畜産試験所)

### 座長 林利彦

- 10:10 B06 異なる餌, 温度下におけるオオクロバエの生育について  
\*森林 敦子<sup>1)</sup>, 倉橋 弘<sup>1)</sup>, 林 利彦<sup>1)</sup>, 澤邊 京子<sup>1)</sup>, 津田 良夫<sup>1)</sup>, 小林 睦生<sup>1)</sup>, 土田 耕三<sup>2)</sup>, 片桐 千仞<sup>3)</sup> (1)国立感染症研究所昆虫医科学部, 2)国立感染症研究所放射能管理室, 3)北海道大学低温科学研究所)
- 10:20 B07 北海道における法医昆虫学の研究: ブタの死骸上での昆虫遷移  
\*亀井 雄二, 岩佐 光啓 (帯広畜産大学昆虫学研究室)
- 10:30 B08 牛用駆虫剤モキシデクチンの糞分解性昆虫に及ぼす影響  
\*岩佐 光啓, 鈴木 夏希, 丸山 美紀子 (帯広畜産大学昆虫学研究室)

### 座長 岩佐光啓

- 10:40 B09 大分県におけるブユ成虫のフィラリア幼虫自然感染  
\*福田 昌子<sup>1)</sup>, 青木 千春<sup>2)</sup>, 高岡 宏行<sup>2)</sup> (1)大分大学総合科学研究支援センター, 2)大分大学医学部感染予防医学教室)
- 10:50 B10 東洋区で最近見出されたブユ属の2亜属の系統について  
\*青木 千春<sup>1)</sup>, 大塚 靖<sup>1)</sup>, 高岡 宏行<sup>1)</sup>, Choochote Wej<sup>2)</sup> (1)大分大学・医学部・感染予防医学, 2)タイ国チェンマイ大学・医学部・寄生虫学)
- 11:00 B11 東マレーシア, サラワク産のクロバエとニクバエ  
\*倉橋 弘<sup>1)</sup>, Charles Leh<sup>2)</sup> (1)感染研, 昆虫医科学部, 2)サラワク自然史博物館)
- 11:10 B12 日本産カレクサフンコバエ属(新称) (双翅目, フンコバエ科) について  
\*林 利彦 (国立感染症研究所昆虫医科学部)

## 4月7日(金) A会場 11:10-14:10 (記念講堂)

### 座長 當間孝子

- 11:10 A11 首都圏動物園および水族館における蚊の発生状況調査  
\*津田 良夫<sup>1)</sup>, 比嘉 由紀子<sup>1)</sup>, 澤邊 京子<sup>1)</sup>, 村田 浩一<sup>2)</sup>, 佐藤 雪太<sup>2)</sup>, 松本 令以<sup>3)</sup>, 植田 美弥<sup>3)</sup>, 長塚 信幸<sup>4)</sup> (1)国立感染症研究所, 2)日本大学生物資源科学部, 3)よこはま動物園, 4)しながわ水族館)
- 11:20 A12 アカイエカ群の個眼数に見られる季節変異と地理的変異  
\*津田 良夫, 比嘉 由紀子, 葛西 真治, 澤邊 京子 (国立感染症研究所)
- 11:30 A13 ネットアイシマカの「内的な発育最適温度」  
\*池本 孝哉 (帝京大学医学部微生物学教室)
- 11:40 A14 ライトトラップによる蚊消長調査は週何回行うべきか  
\*上村 清<sup>1)</sup>, 森岡 斗志尚<sup>2)</sup> (1)丸三製菓, 2)富山大・医・統計)
- 11:50 A15 諏訪湖湖水浄化に伴うユスリカ発生量の変遷  
\*平林 公男<sup>1)</sup>, 木村 悟朗<sup>1)</sup>, 坂井 規浩<sup>1)</sup>, 花里 孝幸<sup>2)</sup> (1)信州大・繊維・応生, 2)信州大・山地水環境教育研究センター)

### 12:00 休憩

### 座長 大塚 靖

- 13:20 A16 蚊類のアルボウイルス媒介能 (10) イナトミシオカのウエストナイルウイルス媒介実験  
\*江下 優樹<sup>1)</sup>, 水田 英生<sup>2)</sup>, 上田 泰史<sup>2)</sup>, 高崎 智彦<sup>3)</sup>, 多森 直樹<sup>1)</sup>, 東原 絢子<sup>1)</sup>, 加藤 孝太郎<sup>1)</sup>, 岡田 貴志<sup>1)</sup>, DIENG Hamady<sup>1)</sup>, 井村 俊郎<sup>4)</sup>, 内田 幸憲<sup>4)</sup>, 高島 郁夫<sup>5)</sup>, 倉根 一郎<sup>3)</sup> (1)大分大学医学部感染予防医学教室, 2)大阪検疫所, 3)国立感染症研究所ウイルス第一部, 4)神戸検疫所, 5)北海道大学大学院獣医学研究科公衆衛生学教室)
- 13:30 A17 2005年国内捕集コガタアカイエカからの日本脳炎ウイルスの分離  
\*澤邊 京子<sup>1)</sup>, 星野 啓太<sup>1)</sup>, 伊澤 晴彦<sup>1)</sup>, 中口 梓<sup>1)</sup>, 佐々木 年則<sup>1)</sup>, 比嘉 由紀子<sup>1)</sup>, 津田 良夫<sup>1)</sup>, 高崎 智彦<sup>1)</sup>, 小滝 徹<sup>1)</sup>, 井上 真吾<sup>2)</sup>, 森田 公一<sup>2)</sup>, 川田 均<sup>2)</sup>, 高木 正洋<sup>2)</sup>, 永野 博明<sup>3)</sup>, 藤井 猪一郎<sup>3)</sup>, 千屋 誠造<sup>4)</sup>, 渡辺 護<sup>5)</sup>, 齋藤 一三<sup>1)</sup>, 小林 睦生<sup>1)</sup> (1)国立感染症研究所, 2)長崎大学熱帯医学研究所, 3)長崎県中央家畜保健衛生所, 4)高知県衛生研究所, 5)富山県衛生研究所)
- 13:40 A18 オオクロバエ体内における H5N1 インフルエンザウイルスの生存に関する研究  
\*澤邊 京子<sup>1)</sup>, 佐々木 年則<sup>1)</sup>, 星野 啓太<sup>1)</sup>, 伊澤 晴彦<sup>1)</sup>, 倉橋 弘<sup>1)</sup>, 主藤 千枝子<sup>1)</sup>, 棚林 清<sup>2)</sup>, 堀田 昭豊<sup>2)</sup>, 山田 章雄<sup>2)</sup>, 小林 睦生<sup>1)</sup> (1)国立感染研・昆虫医学, 2)国立感染研・獣医科学)
- 13:50 A19 沖縄県での *Culicoides* 属ヌカカの採集とウイルス分離  
\*梁瀬 徹<sup>1)</sup>, 加藤 友子<sup>1)</sup>, 国場 保<sup>2)</sup>, 片桐 慶人<sup>3)</sup>, 荒木 美穂<sup>3)</sup>, 相澤 真紀<sup>2)</sup>, 高吉 克典<sup>2)</sup>, 山川 睦<sup>1)</sup>, 津田 知幸<sup>1)</sup> (1)動物衛生研究所九州支所, 2)沖縄県家畜衛生試験場, 3)沖縄県八重山家畜保健衛生所)
- 14:00 A20 2005年, 中国・広東省珠海市で採取した蚊のフラビウイルス保有状況の調査  
\*前田 潤子<sup>1)</sup>, Ma Hongbo<sup>2)</sup>, Hong Sun<sup>2)</sup>, Ke Chuangwen<sup>3)</sup>, 高木 弘隆<sup>4)</sup>, 倉根 一郎<sup>4)</sup>, 堀内 基広<sup>1)</sup>, 高島 郁夫<sup>1)</sup>, 前田 秋彦<sup>1)</sup> (1)北海道大学大学院獣医学研究科, 2)中国珠海市検疫所, 3)中国広東省 CDC, 4)国立感染症研究所)

## 4月7日(金) B会場 11:20-14:10 (ポンペ会館)

### 座長 安居院直昭

- 11:20 B13 マイクロアレイ法を用いたアカイエカ種群のシトクロム P450 解析(1): ピレスロイド剤抵抗性ネッタイエカの遺伝子発現  
\*駒形 修, 葛西 真治, 正野 俊夫, 富田 隆史 (国立感染症研究所昆虫医科学部)
- 11:30 B14 マイクロアレイ法を用いたアカイエカ種群のシトクロム P450 解析 (2) : ピレスロイド剤抵抗性アカイエカおよびチカイエカの遺伝子発現  
\*葛西 真治, 駒形 修, 正野 俊夫, 富田 隆史 (国立感染症研究所昆虫医科学部)
- 11:40 B15 マイクロアレイ法を用いたアカイエカ種群のシトクロム P450 解析 (3) : 過剰発現の機構  
\*富田 隆史, 駒形 修, 正野 俊夫, 葛西 真治 (国立感染症研究所昆虫医科学部)
- 11:50 B16 ガイマイゴミムシダマシの成虫および幼虫の薬剤感受性  
\*富岡 康浩, 青木 聡和, 柴山 淳 (イカリ消毒株式会社)

### 12:00 休憩

### 座長 橋本知幸

- 13:20 B17 エアゾールの溶剤量が粒子径・付着量および効力に与える影響  
\*杉浦 正昭 (フマキラー株式会社)
- 13:30 B18 溶剤低減エアゾールにおける粒子径制御が付着量および効力に与える影響  
\*杉浦 正昭 (フマキラー株式会社)
- 13:40 B19 野外採集チャバネゴキブリに対する各種ジェル食毒剤の効果について (第2報)  
\*新庄 五朗, 佐久間 玲良 ( (財) 日本環境衛生センター)
- 13:50 B20 青森県で確認された本邦初のワルファリン抵抗性ドブネズミについて(第2報)  
\*谷川 力, 春成 常仁 (イカリ消毒株式会社)
- 14:00 B21 毛虫の有毒毛, およびムカデの毒牙における毒成分の分析  
\*夏秋 優 (兵庫医科大学皮膚科)

## 4月7日（金） A会場 14:10-17:45（記念講堂）

座長 江下優樹

- 14:10 A21 ネットアイシマカとヒトスジシマカの寄主探索行動の違いに関する室内実験  
\*川田 均, 高木 正洋（長崎大学熱帯医学研究所）
- 14:20 A22 蚊の吸血嗜好性に関する室内選択実験および野外捕集蚊における調査  
\*横山 紘子<sup>1)</sup>, 斉藤 康秀<sup>1)</sup>, 二瓶 直子<sup>1)</sup>, 澤邊 京子<sup>2)</sup>, 津田 良夫<sup>2)</sup>, 小林 睦生<sup>2)</sup> (1)麻布大学寄生虫学研究室, 2)国立感染症研究所昆虫医科学部)
- 14:30 A23 ピレスロイド抵抗性アカイエカの蚊取り剤使用環境下での吸血行動の実験的検証  
\*橋本 知幸<sup>1)</sup>, 新庄 五朗<sup>1)</sup>, 富田 隆史<sup>2)</sup>, 葛西 真治<sup>2)</sup> (1)財団法人日本環境衛生センター, 2)国立感染症研究所)

14:40 休憩

15:00 - 15:30 総会

15:30 - 16:30 学会賞（岩佐光啓）・佐々賞（佐藤寛子, 武間亮香）受賞式

学会賞受賞講演

岩佐光啓

"畜産環境に関連するハエ類の分類, 生態, 疫学に関する研究"

16:45 - 17:45 招待講演（座長 高木正洋）

森田 公一 "日本脳炎ウイルスの生態と差し迫る西ナイルウイルスの脅威そして対策"

18:00 - 20:00 懇親会（坂本キャンパス内会場）

## 4月7日(金) B会場 14:10-14:40 (ポンペ会館)

座長 武藤敦彦

14:10 B22 人工膜吸血装置によるコロモジラミへの *Bartonella quintana* 感染実験  
\*関 なおみ<sup>1)</sup>, 葛西 真治<sup>1)</sup>, 佐々木 年則<sup>1)</sup>, 富田 隆史<sup>1)</sup>, 佐々木 次雄<sup>2)</sup>, 小林 睦生<sup>1)</sup> (1)国立感染症研究所昆虫医科学部, 2)国立感染症研究所細菌第II部)

14:20 B23 当検査室に提出されたアタマジラミについて  
\*福富 裕之 (昭和メディカルサイエンス・寄生虫学)

14:30 B24 空中写真による兵庫県西宮市のセアカゴケグモ生息動向の解析および防除対策の評価  
\*二瓶 直子<sup>1)</sup>, 小林 睦生<sup>1)</sup>, 吉田 政弘<sup>2)</sup>, 田所 克己<sup>3)</sup>, 金田 弘幸<sup>4)</sup> (1)国立感染症研究所昆虫医科学部, 2)いきもの研究社, 3)西宮市環境衛生課)

15:00 - 17:45 A会場にて総会, 学会賞受賞講演, 特別講演

## 4月8日 午前 A会場 9:00-12:00 (記念講堂)

### 座長 伊澤晴彦

- 9:00 A24 ハマダラカ自然免疫の活性化による抗病原体作用の調節  
岡戸清<sup>1),2)</sup>, 寺本時靖<sup>1),2)</sup>, 青沼宏佳<sup>1),2)</sup>, 三浦正幸<sup>2)</sup>, 藤崎幸蔵<sup>1)</sup>, 嘉糠洋陸<sup>1),2)</sup> (1)帯広畜産大学・原虫病研究センター, 2)東大・院薬・遺伝)
- 9:10 A25 節足動物が有する抗マalaria因子の遺伝学的同定  
\*青沼 宏佳<sup>1)</sup>, 寺本 時靖<sup>1)</sup>, Schneider David<sup>2)</sup>, 三浦 正幸<sup>3)</sup>, 嘉糠 洋陸<sup>1)</sup> (1)帯広畜産大学・原虫病研究センター, 2)スタンフォード大・医, 3)東大・院薬・遺伝)
- 9:20 A26 ハマダラカ自然免疫系コンポーネントの遺伝学的解析  
寺本時靖<sup>1),2)</sup>, 青沼宏佳<sup>1),2)</sup>, 岡戸清<sup>1),2)</sup>, 三浦正幸<sup>2)</sup>, 嘉糠洋陸<sup>1),2)</sup> (1)帯広畜産大学・原虫病研究センター, 2)東大・院薬・遺伝)

### 座長 佐々木年則

- 9:30 A27 節足動物の血球系細胞において機能する抗病原体因子の遺伝学的探索  
\*石井 健一<sup>1)</sup>, 青沼 宏佳<sup>1)</sup>, 新澤 直明<sup>1)</sup>, 三浦 正幸<sup>2)</sup>, 嘉糠 洋陸<sup>1)</sup> (1)帯広畜産大学・原虫病研究センター, 2)東大・院薬・遺伝)
- 9:40 A28 ナマコのレクチン CEL-III を導入した遺伝子操作蚊によるマalaria伝搬阻止  
\*嶋田 陽平<sup>1)</sup>, 近藤 大介<sup>1)</sup>, 上妻 由章<sup>2)</sup>, 吉田 栄人<sup>1)</sup> (1)自治医科大学 感染・免疫学講座医動物学部門, 2)茨城大学 農学部)
- 9:50 A29 ベクターコントロールに向けたショウジョウバエ抗病原体因子の遺伝学的同定  
新澤直明<sup>1),2)</sup>, 青沼宏佳<sup>1),2)</sup>, 三浦正幸<sup>2)</sup>, 嘉糠洋陸<sup>1),2)</sup> (1)帯広畜産大学・原虫病研究センター, 2)東大・院薬・遺伝)

### 10:00-12:00 シンポジウム“Ecology of African Malaria” 座長 都野展子

- 1 Andrew K. Githeko (25 minutes)  
**Perspective of African malaria situation, and rationales of the project of “Ecology of African Highland Malaria”**
- 2 Guiyun Yan (25 minutes)  
**Review of the project**
- 3 皆川昇 (20 minutes)  
**Human impact affecting the local distribution and abundance of larval populations.**
- 4 Andrew K. Githeko (20 minutes)  
**Climate changes and Vector borne diseases**
- 5 **総合討論**

12:00 休憩

## 4月8日(土) B会場 9:20-9:50 (ポンペ会館)

座長 高井憲治

- 9:20 B25 ソロモン諸島におけるマラリア媒介蚊の調査(3) Human-Bait Collection における Parous rate の雨期と乾期における変動  
\*村主 節雄<sup>1)</sup>, 藤本 千草<sup>1)</sup>, Arif-UL- Hasan<sup>1)</sup>, 石井 明<sup>2)</sup>, 太田 伸生<sup>3)</sup>, 原田 正和<sup>1)</sup> (1)香川大医国際医動物, 2)実践女子大学生生活科学部, 3)東京医歯大学国際環境)
- 9:30 B26 Survey on vector mosquitoes of malaria in Solomon Islands (4) Distribution of Anopheles larvae and adults in Guadalcanal Island  
\*Arif-UL- Hasan<sup>1)</sup>, 村主 節雄<sup>1)</sup>, 藤本 千草<sup>2)</sup>, 石井 明<sup>3)</sup>, 太田 伸生<sup>4)</sup>, 原田 正和<sup>1)</sup> (1)香川大医国際医動物, 2)香川県立保健医療大学, 3)実践女子大学生生活科学部・食生活科学科・公衆衛生学研究室, 4)東京医歯大学国際環境)
- 9:40 B27 パプア・ニューギニアにおけるマラリア媒介蚊の調査(11) ITS2 および CO2 領域による系統解析  
\*藤本 千草, 村主 節雄, Arif-UL-Hasan, 原田 正和 (香川大学医学部国際医動物学講座)

10:00-12:00 A会場(記念講堂)にてシンポジウム

## 4月8日(土) A会場 13:00-14:40 (記念講堂)

### 座長 村主節雄

- 13:00 A30 ブラジルサシガメの唾液腺に見いだされた血小板凝集を抑制する新規生理活性物質の性状解析  
森田 明広<sup>1)</sup>, \*伊澤 晴彦<sup>2)</sup>, 織戸 由貴<sup>1)</sup>, 岩永 史朗<sup>3)</sup>, 鎮西 康雄<sup>1)</sup>, 油田 正夫<sup>1)</sup> (1)三重大学, 2) 国立感染症研究所, 3)神戸大学)
- 13:10 A31 ハマダラカ成虫の唾液腺におけるキサンツレン酸含量とマラリア伝播効率  
\*松岡 裕之, 平井 誠, 服部 隆太, 笠原 優一, 吉田 元, 新井 明治 (自治医科大学医学部 感染・免疫学講座)
- 13:20 A32 *Armigeres subalbatus* の *Plasmodium gallinaceum* に対するメラニン化作用  
\*佐々木 年則<sup>1)</sup>, 磯部 尚<sup>2)</sup>, 齋藤 典子<sup>3)</sup>, 星野 啓太<sup>1)</sup>, 伊澤 晴彦<sup>1)</sup>, 澤邊 京子<sup>1)</sup>, 小林 睦生<sup>1)</sup>  
(1)国立感染症研究所昆虫医科学部, 2) (独) 農業・生物系特定産業技術研究機構動物衛生研究所寄生病研究室, 3)国立感染症研究所電子顕微鏡室)

### 座長 松岡裕之

- 13:30 A33 媒介蚊の中腸内移動に必要なマラリア原虫の蛋白質リン酸化酵素  
\*鎮西 康雄, 石野 智子, 油田 正夫 (1)三重大学大学院医学系研究科医動物感染医学分野, 2)科学技術振興機構 創造的開発研究)
- 13:40 A34 リーシュマニア原虫媒介サシチョウバエ *Phlebotomus duboscqi* 唾液タンパクのトランスクリプトーム解析  
\*加藤 大智<sup>1)</sup>, Anderson Jennifer<sup>2)</sup>, Oliveira Fabiano<sup>2)</sup>, Valenzuela Jesus<sup>2)</sup> (1)山口大学農学部家畜衛生学教室, 2)Vector Molecular Biology Unit, Laboratory of Malaria and Vector Research, NIAID, NIH)
- 13:50 A35 Adult feeding in the dengue vector *Aedes albopictus* (Diptera: Culicidae): male effect and meal status-induced protein expression in the midgut  
\*Hamady Dieng<sup>1)</sup>, Michael Boots<sup>2)</sup>, Naoki Tamori<sup>1)</sup>, Junko Higashihara<sup>1)</sup>, Takashi Okada<sup>1)</sup>, Kotaro Kato<sup>1)</sup>, Yuki Eshita<sup>1)</sup> (1)大分大学, 2)Department of Animal and Plant Sciences, University of Sheffield)

### 座長 白井良和

- 14:00 A36 JNK の阻害は, *Aedes albopictus* 若齢幼虫の成長を抑制する  
\*佐藤 朝光<sup>1)</sup>, 長野 佑基<sup>1)</sup>, 水谷 哲也<sup>2)</sup>, 江下 優樹<sup>3)</sup>, 宮田 健<sup>1)</sup>, 鹿志毛 信広<sup>1)</sup>, 見明 史雄<sup>1)</sup>  
(1)福岡大学 2)国立感染症研究所 3)大分大学)
- 14:10 A37 Embryogenesis in the dengue vector *Aedes albopictus* (Diptera: Culicidae): ecological basis and transgenic implications  
\*Hamady Dieng<sup>1)</sup>, Michael Boots<sup>2)</sup>, Naoki Tamori<sup>1)</sup>, Junko Higashihara<sup>1)</sup>, Takashi Okada<sup>1)</sup>, Kotaro Kato<sup>1)</sup>, Yuki Eshita<sup>1)</sup> (1)大分大学, 2)Department of Animal and Plant Sciences, University of Sheffield, England)
- 14:20 A38 ヤマトヤブカ *Ochlerotatus japonicus* コロニーの樹立  
\*星野 啓太, 伊澤 晴彦, 佐々木 年則, 澤邊 京子, Roychoudhury Sudipta, 小林 睦生, 比嘉 由紀子, 津田 良夫 (国立感染症研究所)
- 14:30 A39 Fecundity related to mating frequency in six freshwater copepods (Copepoda: Cyclopidae)  
\*Tran Vu Phong, 都野 展子, 川田 均, 高木 正洋 (長崎大学熱帯医学研究所)

## 4月8日(土) B会場 13:00-14:30 (ポンペ会館)

### 座長 角坂照貴

- 13:00 B28 2005年における石川県能登半島を中心としたツツガムシ病およびマダニ媒介性疾患の基礎調査  
\*及川 陽三郎<sup>1)</sup>, 池田 照明<sup>1)</sup>, 矢野 泰弘<sup>2)</sup>, 高田 伸弘<sup>2)</sup> (1)金沢医科大学・生体感染防御(医動物), 2)福井大学・医学部)
- 13:10 B29 福井県の紅斑熱群リケッチア症, 特に患者発生地でのベクター調査について  
\*石畝 史<sup>1)</sup>, 高田 伸弘<sup>2)</sup>, 矢野 泰弘<sup>2)</sup>, 藤田 博巳<sup>3)</sup> (1)福井県衛生環境研究センター, 2)福井大学医学部, 3)大原研究所)
- 13:20 B30 北部九州のマダニ相と季節的消長  
\*北沢 高司 (産業医科大学生物化学教室)
- 13:30 B31 島根県産アカネズミ寄生個体に基づくタヌキマダニ幼虫期確定  
田原 研司<sup>1)</sup>, 板垣 朝夫<sup>1)</sup>, \*藤田 博巳<sup>2)</sup>, 角坂 照貴<sup>3)</sup>, 矢野 泰弘<sup>4)</sup>, 高田 伸弘<sup>4)</sup>, 川端 寛樹<sup>5)</sup> (1)島根県保健環境科学研究所, 2)大原総合病院附属大原研究所, 3)愛知医科大学, 4)福井大学医学部, 5)感染症研究所)

### 座長 高田伸弘

- 13:40 B32 島根県下に生息する野ネズミからの *Babesia microti* SSU rRNA 遺伝子の検出  
\*田原 研司<sup>1)</sup>, 保科 健<sup>1)</sup>, 新井 智<sup>2)</sup>, 辻 正義<sup>3)</sup>, 川端 寛樹<sup>2)</sup>, 角坂 照貴<sup>4)</sup>, 藤田 博巳<sup>5)</sup>, 矢野 泰弘<sup>6)</sup>, 高田 伸弘<sup>6)</sup> (1)島根県保健環境科学研究所, 2)国立感染症研究所, 3)酪農学園大学, 4)愛知医科大学, 5)大原総合病院附属大原研究所, 6)福井大学)
- 13:50 B33 石垣島におけるカメキアラマダニ幼虫の人体寄生例  
\*角坂 照貴<sup>1)</sup>, 藤田 博巳<sup>2)</sup>, 後藤 郁夫<sup>3)</sup>, 川端 寛樹<sup>4)</sup> (1)愛知医科大学, 2)大原総合病院, 3)神戸検疫所, 4)国立感染症研究所)
- 14:00 B34 鹿児島県大隅半島における日本紅斑熱媒介マダニ類の検索  
\*野田 伸一<sup>1)</sup>, 山本 進<sup>2)</sup> (1)鹿児島大学多島圏研究センター, 2)鹿児島大学大学院医歯学総合研究科環境医学)
- 14:10 B35 北海道十勝地域のマダニからのリケッチアおよびエールリヒア DNA の検出  
\*猪熊 壽, 大橋 美里, 吉林 台, 宮原 和郎, 田邊 茂之 (帯広畜産大学)
- 14:20 B36 マダニ唾液腺からの *Babesia microti* の検出  
\*矢野 泰弘<sup>1)</sup>, 斎藤 あつ子<sup>2)</sup>, 河合 敦子<sup>2)</sup>, 高田 伸弘<sup>1)</sup> (1)福井大学医学部, 2)神戸大学大学院医学系研究科)

## 4月8日(土) A会場 14:40-15:40 (記念講堂)

### 座長 富田隆史

- 14:40 A40 メトフルトリンを含有した常温揮散製剤の蚊に対する空間忌避効果に関する検討(5) ベトナム・ミト市の民家におけるネッタイシマカを対象とした新樹脂製剤の残効性試験  
\*川田 均<sup>1)</sup>, Luu Le Loan<sup>2)</sup>, Tran Khanh Tien<sup>2)</sup>, Nguyen Thi Nhu Mai<sup>3)</sup>, 高木 正洋<sup>1)</sup> (1)長崎大学熱帯医学研究所 2)Pasteur Research Laboratory 3)Tien Giang Preventive Medicine Center)
- 14:50 A41 メトフルトリンを含有した常温揮散製剤の蚊に対する空間忌避効果に関する検討(6) ベトナム・ミト市の民家における環境要因が効力に及ぼす影響についての調査  
\*川田 均<sup>1)</sup>, 岩崎 智則<sup>2)</sup>, Luu Le Loan<sup>3)</sup>, Tran Khanh Tien<sup>3)</sup>, Nguyen Thi Nhu Mai<sup>4)</sup>, 庄野 美徳<sup>2)</sup>, 片山 泰之<sup>2)</sup>, 高木 正洋<sup>1)</sup> (1)長崎大学熱帯医学研究所, 2)住友化学農業化学品研究所, 3)Pasteur Research Laboratory, 4)Tien Giang Preventive Medicine Center)
- 15:00 A42 エミネンス<sup>®</sup>(一般名 メトフルトリン)ファン式蚊取りの性能評価  
\*岩崎 智則, 菅野 雅代, 片山 泰之, 庄野 美徳, 松永 忠功 (住友化学農業化学品研究所)

### 座長 新庄五朗

- 15:10 A43 雨水枡および浄化槽に生息するアカイエカ群に対するピリプロキシフェン含有発泡錠剤の防除効果  
\*内海與三郎<sup>1)</sup>, 釜田壹<sup>1)</sup>, 古田真也<sup>1)</sup>, 亀井正治<sup>1)</sup>, 吉田政弘<sup>2)</sup>, 山下敏夫<sup>2)</sup>, 小林睦生<sup>3)</sup>  
(1)アース・バイオケミカル株式会社, 2) いきもの研究社, 3) 国立感染症研究所)
- 15:20 A44 プロフルトリンの各種害虫に対する効力  
\*菅野 雅代, 庄野 美徳, 松永 忠功 (住友化学株式会社)
- 15:30 A45 薬用植物2種の蚊およびユスリカ幼虫に対する選択毒性  
\*近藤 繁生<sup>1)</sup>, 小西 天二<sup>2)</sup> (1)愛知医科大学医学部寄生虫学教室, 2)同志社女子大学薬学部生薬学教室)

15:40 閉会

## 4月8日(土) B会場 14:30-15:40 (ポンペ会館)

### 座長 杉山章

- 14:30 B37 東マレ - シア、サラワク各地で採集されたクロヤブカ属の蚊成虫の形態  
\*當間 孝子<sup>1)</sup>、岡澤 孝雄<sup>2)</sup>、宮城 一郎<sup>1)</sup>、比嘉 由紀子<sup>3)</sup>、Leh Charles<sup>4)</sup>  
1)琉球大学 2)金沢大学 3)長崎大学 4)サラワク自然史博物館
- 14:40 B38 東マレ - シア、サラワクでココナツ殻に生息する蚊  
\*岡沢 孝雄<sup>1)</sup>、當間 孝子<sup>1)</sup>、宮城 一郎<sup>2)</sup>、比嘉 由紀子<sup>3)</sup>、レ - チャ - ルス<sup>4)</sup>  
1)金沢大学 2)琉球大学 3)長崎大学 4)サラワク自然史博物館
- 14:50 B39 東マレ - シア・サラワクの自然史博物館との蚊相に関する共同調査研究、2005年の調査概要と採集された種  
\*宮城 一郎<sup>1)</sup>、比嘉 由紀子<sup>2)</sup>、當間 孝子<sup>1)</sup>、岡澤 孝雄<sup>3)</sup>、Leh Charles<sup>4)</sup>  
1)琉球大学 2)長崎大学 3)金沢大学 4)サラワク自然史博物館
- 15:00 B40 PacELF (太平洋フィラリア根絶作戦)の一環としてのフィジー、ビチレブ島における蚊相の調査  
\*當間 孝子<sup>1)</sup>、宮城 一郎<sup>1)</sup>、一盛 和世<sup>2)</sup>、Kovoivuetta Joe<sup>3)</sup>、仲本 和美<sup>4)</sup>  
1)琉球大学 2)WHO 3)フィジー厚生省 4)JICA

### 座長 皆川 昇

- 15:10 B41 Genetic and morphological studies of *Anopheles maculatus* chromosomal form K  
Damrongpan Thongwat<sup>1)</sup>, Puckavadee Somwang<sup>1)</sup>, Katy Morgan<sup>2)</sup>, Samantha O'Loughlin<sup>2)</sup>, Catherine Walton<sup>2)</sup>, Wej Choochote<sup>1)</sup> and \*Pradya Somboon<sup>1)</sup> (1)Department of Parasitology, Faculty of Medicine, Chiang Mai University, 2)School of Biological Sciences, University of Manchester)
- 15:20 B42 ヌカカの分子学的な種の識別: ITS 領域およびミトコンドリア遺伝子  
\*松本 由記子<sup>1)</sup>、梁瀬 徹<sup>2)</sup>、津田 知幸<sup>2)</sup>、野田 博明<sup>1)</sup> (1)農業生物資源研究所, 2)動物衛生研究所)
- 15:30 B43 日本におけるヒトスジシマカの集団内および集団間のミトコンドリア遺伝子配列の変異  
\*大塚 靖、高岡 宏行 (大分大学医学部感染予防医学教室)

### 15:40 閉会